



“Think different” な人や企業にフォーカスした Web メディア

PR 記事ゼロ。取材費ゼロ。すべて無料。

第三者推薦で選ばれたトッププレイヤーだけを、10,000 字超の熱量で。

株式会社ディプロコア ThinkD 編集部

<https://thinkd.jp/>



ThinkD とは

1997 年、Apple Computer の伝説的な広告 “**Think different**”。アインシュタインやエジソンなど、新たな発想で世界を変えた偉人たちが登場した 60 秒の CM に着想を得たメディアです。

リスクを恐れず、未開の地に飛び込み、新たな挑戦をするゲストへの独自インタビュー。10,000 字を超える圧倒的な熱量で、PR 記事なし・すべて無料でお届けしています。

取材対象や企業から、記事作成の対価は一切いただいていません。その理由は次のページへ。

2024.08

メディアローンチ

53 本

公開インタビュー記事数（2026 年 6 月時点）

10,000 字 +

1 記事あたりの平均文字数

¥0

取材費・記事作成料

すべての記事に、価格も PR タグもありません。

なぜ、無料なのか。



純粋なメディアを つくりたい。

ThinkD を立ち上げた理由は、本当にそれだけでした。



株式会社ディプコア
代表取締役 CEO

水野 歩

有料の壁と広告に、残念な思いを

HR 業界で 20 年。途中で有料になり読むのをやめた記事、素晴らしい会社だと思ったら PR 広告だった記事。そんな残念な体験を減らしたい、が出発点です。

収益は、ThinkD では求めない

収益は祖業の転職エージェント事業「depcoa AGENT」など他事業で。だから ThinkD は PR 記事ゼロ・購読無料を貫けます。

1 ミリ 1 グラムの積み重ねを届ける

壁を乗り越えた時、失敗した時、その人がどんな一手を選んだのか。読者の背中を押し、最適解を選ぶヒントになる物語を届けます。

ThinkD 3 つの特徴

01

無料で、ThinkD だけの情報を

購読は完全無料。平均 10,000 字超の圧倒的な情報量、ここでしか読めないインタビューを誰でも閲覧できます。

02

PR 記事は、一切ありません

広告料を受け取るタイアップ記事はゼロ。取材対象者や企業から記事作成料金もいただいていません。

03

第三者が推薦する、トッププレイヤー

CxO・役職者・VC・ファンドからの推薦で取材対象が決定。「顔出し&推薦文作成」が条件の第三者推薦形式です。

有償プロモーションを行わないからこそ、ThinkD に集まるのは「読みたくて来た」読者だけです。

第三者推薦の仕組み

広告出稿ではたどり着けない、お墨付きのある人・企業だけを取材しています。



推薦できる方

CxO／役職者／ベンチャーキャピタル・ファンド等。推薦者ご本人の「顔出し」と「推薦文の作成」をお願いしています。
第三者のお墨付きが、記事の信頼を支えています。

上場企業の経営者から、シード期の起業家、Jリーガー出身の監督まで。業界も規模も横断して、挑戦の物語を53本（2026年6月時点）掲載してきました。

ThinkD MEDIA GUIDE 2026

1つの取材を、3つの読み方で。

日本を照らす"燈"であり続けるために、
誰も挑戦しなかった領域へ

AI×建設業界への独自フォーカス

若き専門家集団が挑む未踏の課題

強い使命感で日本から世界へ

「結果を出すだけでなく、"どう乗り越えたか"のプロセスを皆で楽しむ。
それが、燈のDNAです」 燈株式会社 代表取締役CEO 野呂氏

実際の「1分スライド」。燈株式会社・野呂様の記事より。



スマホで音声再生中

物語を読む

読む

広告ゼロの一次情報を、平均 10,000 字超の熱量で。
生々しい物語に浸れます。

スライドで掴む

1分

エッセンスを編集部が1枚のスライドに構造化。まず
1分で概要を掴めます。

音声で聴く

5分

概要や核心部分を5分程度の音声で。移動中でも耳か
らインプットできます。

キープ&しおり機能で、読みかけの記事にもすぐ戻れます。

1本が、分厚い。

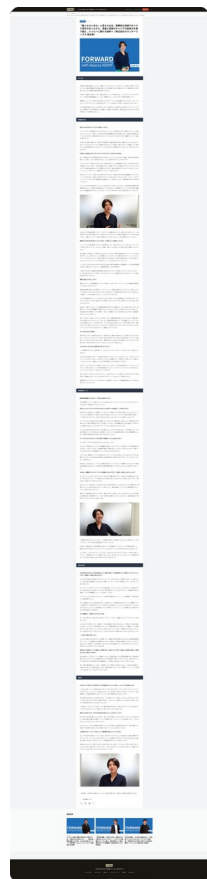
実際の記事ページ全文を、そのまま縮小。



← PC 画面
1 枚分



インタビュー



FORWARD

インタビュー 1 本、PC 画面約 14 枚分。

転職体験談 FORWARD でも約 7 枚分。読み飛ばせる要約記事ではなく、決断のプロセスまで潜れる物語です。

平均 10,000 字超の一次情報

対面取材のみ。壁にぶつかった時、何を考え、どの一手を選んだのかまで深掘りします。

章立てで、深く潜れる構成

はじめに、意思決定の背景、現在の状況、これから。長くても迷子にならない設計です。

写真・スライド・音声つき

取材写真に加え、1分スライドと5分音声を併載。忙しい読者にも届きます。

公開前に、当事者確認

ファクトチェックと取材対象者・関係企業の承認を経てから公開しています。

※ 左は BuySell Technologies 様の記事と FORWARD 菅谷様の記事の実ページ。画面数は一般的なノート PC 表示での換算です。

コンテンツラインナップ

インタビュー記事を核に、8種のコンテンツで一次情報を多角的に届けています。

インタビュー

独自インタビュー記事

挑戦するゲストの物語を10,000字超の熱量で。

テーマ

テーマから探す

物語を5つのテーマに分類。関心から探せます。

特集

編集部特集

トレンドを踏まえ独自の目線でキュレーション。

オフィスへGO！

フォトストーリー

社風があふれるオフィス空間を写真で。

取材ノート

編集部コラム

取材で感じたこと、考えたことをコラム形式で。

ランキング

人気記事ランキング

ビジネスパーソンに関心トレンドを掴めます。

TOP RUNNERS

限定対談

代表とトップランナーが深く掘り下げる対談。

FORWARD

転職体験談

転職の意思決定と入社後の状況を伺う企画。

VC ・ PE ファンドにとってのメリット

01

投資先の認知を、費用ゼロで

投資先の経営者に 10,000 字超の独自インタビューを無料で実施。ポートフォリオ企業の認知・採用・営業を後押しします。

02

広告色ゼロだから、本来の言葉が届く

PR 記事ではないからこそ、経営者の決断や葛藤がそのまま伝わり、読み手の信頼を得やすいストーリーになります。

03

第三者メディアとしての信頼を担保

ファクトチェックと当事者確認を徹底した中立的な編集体制。掲載後は貴社の紹介実績としても活用できます。

掲載可否は編集部にて内容を確認のうえ、丁寧にご相談させていただきます。

掲載イメージ



掲載例：株式会社 BuySell Technologies 代表取締役社長兼 CEO 徳重様

● 経営者の意思決定を、1万字超で

創業の背景から前始末の戦略まで。決断と葛藤のプロセスを、対面取材の一次情報で深く残します。

● 推薦者の顔とコメントも掲載

第三者のお墨付きが見える構成。読み手の信頼を獲得しやすいストーリーになります。

— 推薦理由



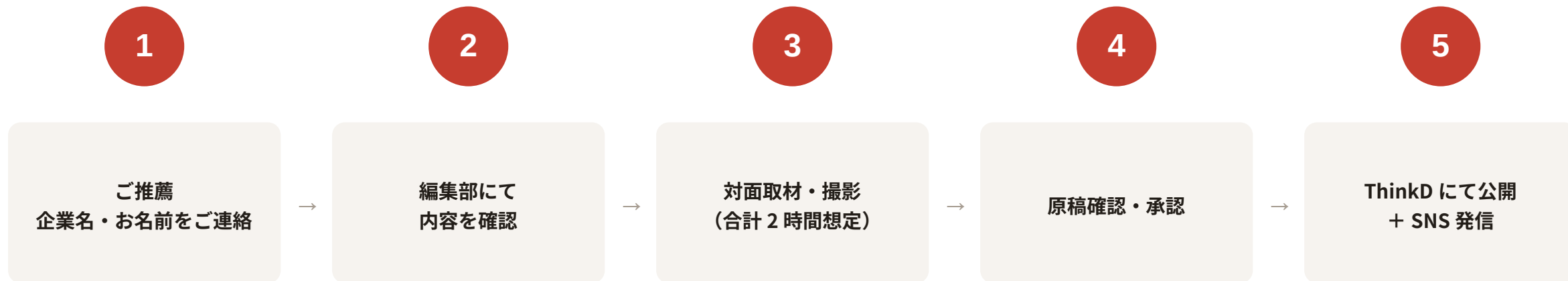
篠崎 新悟

株式会社よりそう 代表取締役社長COO

バイセルは、単なるリユース事業にとどまらず、「大切にされてきたものを次の担い手へ正しくつなぐ」社会的な循環を担う存在だと感じています。高齢化や相続の進展により、手放し方に迷う方が増える中で、安心・透明・適正なプロセスを高い水準で実装している点に大きな意義があります。テクノロジーと人の力を掛け合わせ、顧客体験とコンプライアンスを両立する取り組みは、業界全体のスタンダードを引き上げるものであり、今後の広がりに大きな期待を寄せています。

実際の「推薦理由」欄。株式会社よりそう 篠崎様が株式会社 BuySell Technologies 徳重様をご推薦。

推薦から掲載までの流れ



※ 対面取材・撮影は合計 2 時間を想定。取材や撮影は通常 1 名、もしくは 2 名でお伺いします。

気になる、Think different な企業はありませんか？

投資先の中に「取材してほしい」経営者がいらっしゃれば、ぜひご一報ください。掲載可否は編集部にて丁寧にご相談させていただきます。

ThinkD 編集部 編集長 山内 基 yamauchi.m@depcoa.co.jp

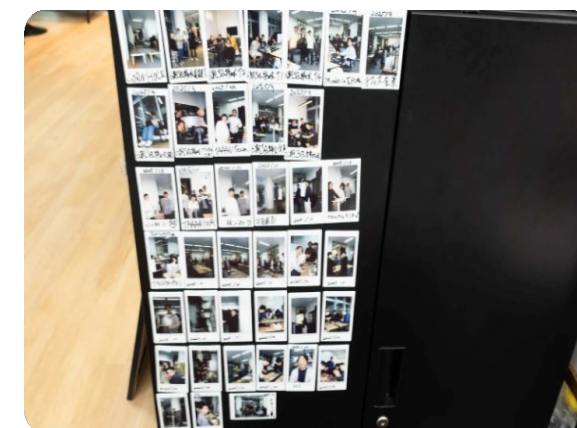


「オフィスへ GO !」とは

オフィスを覗けば、会社が見える。

ファシリティ、会議室名、本棚に並ぶ本、レイアウト。オフィス空間には、その企業のカルチャーや哲学が色濃く反映されます。編集部が取材時に撮影し、第三者目線のフォトストーリーとしてカジュアルにお届けします。

- 写真中心・ごく短いキャプションのみで構成
- 社風が伝わる視点で撮影。トラのクッションも、目標達成のドラムも。
- ThinkD 取材とあわせても、オフィスへ GO ! 単体でも。撮影のみのご訪問も可能です



写真：株式会社 KAEN 様のオフィスへ GO ! より

オフィスへ GO !

「オフィスへ GO !」 誌面イメージ

写真とひとことで、ずんずん進む。KAEN 様の回より。



渋谷に光るネオン。色が変わります



お隣は渋谷名物のフグと共演



トラとサメのクッション！なぜに！？



本棚に名著『ビジョナリーカンパニー』



法被に「時代を変える」の文字



節目ごとのチェキがベタベタ。仲良し



VISION・MISSION のポスターがクール



目標達成したら、ドラを一発！

こんなテンポで、1記事あたり写真30～40枚ほど。求人票では伝わらない「らしさ」が届きます。

オフィスへGO！

公開後の広がり

ThinkD トップの新着コンテンツに大きく掲載され、各 SNS でも配信されます。



トップページの新着コンテンツに掲載

公開直後は ThinkD のトップで大きく露出。訪れた読者の目にまず入ります。

カテゴリ「オフィスへGO！」から回遊

タブから過去記事も一覧で読まれるため、公開後も見られ続けます。

各 SNS でも配信

編集部の SNS 発信を通じて、社外の目に触れる機会が広がります。

ThinkD トップページでの表示イメージ。公開直後は新着コンテンツの先頭に大きく掲載されます。

掲載実績：株式会社 KAEN 様、株式会社カウンターワークス様、オシロ株式会社様

採用ブランディングとしての活用

無料でカルチャーを発信

撮影・掲載にかかる費用は原則不要。オフィスへ GO ! 単体での撮影訪問も可能です。撮影は約 1 時間を想定、ご訪問は通常 1 名もしくは 2 名です。

第三者目線で社風を可視化

ThinkD 編集部の第三者視点で魅力を届けるため、客観的で信頼性の高い「らしさ」が届きます。

SNS も含めた拡散導線

編集部の SNS 発信や記事内の回遊を通じて、社外の目に触れる機会が広がります。



掲載実績：株式会社 KAEN 様、株式会社カウンターワークス様、オシロ株式会社様

単独掲載も可能です。

ThinkD 本編の取材先企業に加え、企業ブランディングを目的とした単独掲載にも対応。オフィスへ GO ! のためだけの撮影訪問も承ります。ご興味のある企業様には、depcoa の担当エージェントからご案内しています。

「FORWARD」とは

転職のリアルを、本人の言葉で。

ThinkD を運営するディプロコアの転職支援サービス「depcoa AGENT」をご利用いただいた方に、転職の意思決定プロセスや入社後の状況を伺うインタビュー企画です。

- 転職の背景から意思決定、入社後まで、一人称の物語で
- 入社の決め手が、候補者自身の言葉で語られます
- はたらく人にフォーカスした、第三者目線のコンテンツです

画像： FORWARD 株式会社カウンターワークス 菅谷様の記事より



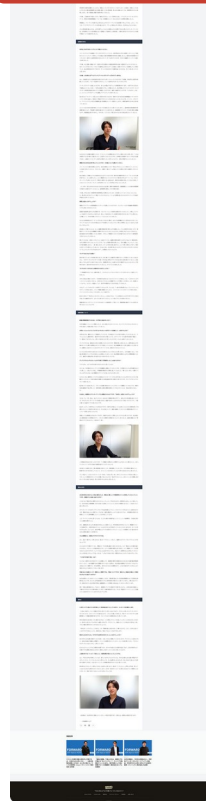
候補者に「入社後の姿」まで届けられる、採用ブランディングの後押しコンテンツです。

記事の構成

はじめてから入社後まで。1本で完結する5章構成です。



← PC 画面
1 枚分



1 本で、PC 画面約 7 枚分。

転職体験談も、読み飛ばせる要約記事ではありません。決断の背景から入社後まで、ひとつの物語として残ります。

1

はじめに

取材の背景と、ご本人の紹介

2

転職前の状況

当時の環境と、抱えていた課題感

3

転職活動について

入社の決め手と、意思決定のプロセス

4

現在の状況

入社後のリアルな手応え

5

最後に

これからの展望と、読者へのメッセージ

※ 左は FORWARD 菅谷様の記事の実ページをそのまま縮小したもの。画面数は一般的なノート PC 表示での換算です。

誌面イメージ 01

株式会社カウンターワークス 菅谷様（CASE 007）



実際の記事タイトルブロック。決断の言葉が、そのままタイトルに。

タイトルは、本人の決断の言葉。

「動くなりまだ」——記事のタイトルには、ご本人の決断の言葉がそのまま入ります。転職の背景から意思決定、入社後まで、本人の言葉で語られます。

意思決定のプロセスを、本人の言葉で

迷いや不安も含めて、決断の理由がそのまま残ります。

入社後の状況まで追う、後日談つき

「その後どうなったか」まで読めるのが特徴です。

「なぜこの会社か」が伝わる

候補者が知りたい入社の決め手に、率直に答える構成です。

候補者に「入社後の姿」まで届けられる、採用ブランディングの後押しコンテンツです。

誌面イメージ 02

エムシーディースリー株式会社 永井様（CASE 008）

やりたい仕事を見据え前向きに行動すれば、大体のものは手に入る——6度の転職を経験したPMが、AIと共に挑むモノづくりの新境地（エムシーディースリー株式会社 永井様）



実際の記事タイトルブロック。6度の転職も、前向きな物語として。

キャリアの数だけ、物語がある。

やりたい仕事を見据えて行動してきた6度の転職と、AIと共に挑むモノづくりの新境地。転職の回数ではなく、意思決定の軸が伝わる構成です。



具体的には、米国本社からのトップダウンの指示や厳格な予算制約がある環境などです。それが外資系企業の強さの一面であることは理解しつつも、自分たちで意思決定できる範囲に限られます。やりたいことがあったとしてもグローバル組織としての役割分担が明確であるからこそ、現場レベルでドラスティックに意思決定できない難しさが、個人的にはもどかしさを感じていました。2023年から2024年にかけての話です。

その時期は、ちょうど生成AIが市民権を得ていったタイミングですね。

そうなんです。そして、それが転職のきっかけになります。というのも、私自身はもともと自分でコードを書くエンジニアでした。そのため、生成AIが急速に広がっていく様子を見て、「設計書作成やコーディングの多くの部分が、近い将来AIに置き換わっていくだろう」と感じていました。

そのとき、「このまま外資系企業で5年、10年と過ごしたとき、自分のビジネスパーソンとしての市場価値



“Think different” な人や企業にフォーカスした Web メディア

運営会社

株式会社ディプロコア

メディア名

ThinkD（シンクディー）

担当者

ThinkD 編集部 編集長 山内 基

メール

yamauchi.m@depcoa.co.jp

URL

<https://thinkd.jp/>



まずは、ご一報ください。

推薦のご相談、オフィスへ GO ! の掲載希望、その他ご質問など、お気軽にどうぞ。



お問い合わせフォームへ
直接つながる QR です。